

ひょうごらくのうメモ

1

2024JAN



表紙:『 アイ♥牛 I Love you』 淡路市 西岡 龍之介さん
第41回らくのうひょうごフェスティバル・絵画コンクールより

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

年頭のご挨拶

令和6年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。組合員並びに関係者の皆様におかれましては、日頃より当組合の事業につきまして格別のご理解とご支援を賜っております事厚くお礼申し上げます。

新年を迎えるにあたり、まず最初に、令和6年1月1日に発生した能登半島地震で、被災地の方々に深い哀悼の意を捧げるとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

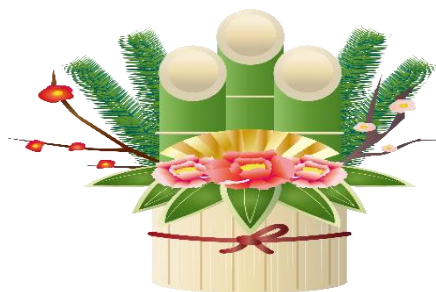
昨年5月、新型コロナウイルス感染症も5類移行に伴い、生活環境も窮屈な様相から解放され、各種イベントも通常開催が可能になりました。しかしながら、地球の動きは予測困難であり、私たちはいつも災害に備え、連携し支え合うことが大切であることを改めて実感しております。

畜産・酪農も今までにない環境の悪化により、廃業を余儀なくされる生産者が後を絶たない中で、一昨年に続く乳価期中値上交渉が叶い、廃業を思いとどまる生産者があつたのではないかと思います。行政も畜産経営の窮状を理解いただき、特に粗飼料給与を利用する酪農に対し粗飼料高騰対策として支援いただき、新年には再度畜産全般に飼料高騰対策支援の実施をいただくこととなり大変ありがたく思います。

昨年秋には生乳生産回復の呼び水として、乳牛展示販売会を開催しました。多くの組合員が参加いただき、全頭完売いただくことができました。組合としましても、組合員の経営継続に繋がる事業・方策を考え、多方面に要請を引き続き行ってまいりたいと考えます。

最後に、この1年が皆様にとって健康で輝かしい飛躍の年となりますよう、心よりご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

令和6年1月吉日



兵庫県酪農農業協同組合

代表理事組合長 吉川 稔英

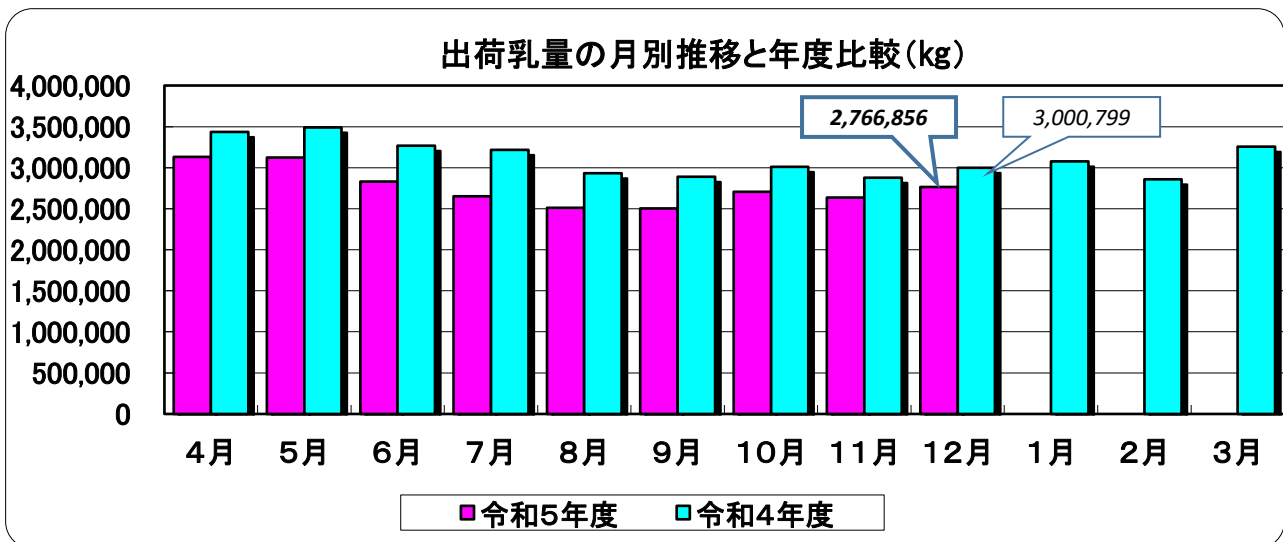
生乳生産統計

1. 全国(令和5年11月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	5年	4月	628.0	95.6
令和	5年	5月	648.9	95.6
令和	5年	6月	619.3	96.3
令和	5年	7月	616.5	95.5
令和	5年	8月	590.1	94.1
令和	5年	9月	573.4	94.6
令和	5年	10月	597.8	96.1
令和	5年	11月	578.9	97.0
令和	5年	12月		
令和	6年	1月		
令和	6年	2月		
令和	6年	3月		
令和	5年度	累計	4,852.7	95.6

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地区	令和 5年12月		年度累計		出荷農家 戸数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	530,082	91.8	4,668,051	88.6	19
播州地区	340,339	69.8	3,156,654	66.3	15
丹但地区	256,649	84.9	2,386,601	84.3	13
淡路地区	1,639,786	100.4	14,655,372	96.0	81
合計	2,766,856	92.2	24,866,678	88.4	128



参考情報

淡路家畜市場情報

令和5年12月第2金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	19	55,868	143,000	4,400			56		
		前回	25	53,064	168,300	1,100			57	2,804	5.3%
		前年	14	113,850	191,400	1,100			53	-57,982	-50.9%
	オス	今回	21	56,152	167,200	5,500			56		
		前回	21	54,738	173,800	1,100			56	1,414	2.6%
		前年	15	121,660	211,200	1,100			53	-65,508	-53.8%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	3	4,033	7,700	1,100			48		
		前回	4	9,625	14,300	6,600			51	-5,592	-58.1%
		前年	5	15,400	18,700	13,200			51	-11,367	-73.8%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前回は令和6年11月第4金曜日・前年は令和4年12月第2金曜日

令和5年12月第4金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	23	49,787	146,300	15,400			55		
		前回	19	55,868	143,000	4,400			56	-6,081	-10.9%
		前年	13	80,892	162,800	2,200			52	-31,105	-38.5%
	オス	今回	22	49,750	111,100	5,500			55		
		前回	21	56,152	167,200	5,500			56	-6,402	-11.4%
		前年	20	122,320	225,500	23,100			54	-72,570	-59.3%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	5	15,400	24,200	11,000			55		
		前回	3	4,033	7,700	1,100			48	11,367	281.8%
		前年	3	9,900	17,600	4,400			48	5,500	55.6%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前回は令和5年12月第2金曜日・前年は令和4年12月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
4	1	60,274	73	86,602	118	96,842	26	84,852	7,917
	2	78,917	74	84,541	76	82,622	27	99,587	7,368
	3	89,551	78	93,886	134	84,111	28	104,430	8,775
	4	96,634	73	98,901	78	93,317	18	101,788	7,440
	5	112,322	54	111,763	78	99,245	18	123,317	6,324
	6	122,177	71	111,003	68	119,460	10	117,640	7,227
	7	95,057	53	104,775	56	85,663	8	74,406	7,599
	8	45,824	76	66,689	75	30,158	12	31,436	7,762
	9	25,075	83	22,432	102	17,417	12	15,575	6,428
	10	16,210	91	21,039	87	9,477	26	20,611	6,131
	11	18,362	78	20,287	97	8,250	22	26,558	6,750
	12	14,582	74	21,227	91	10,159	17	22,961	5,900
5	1	15,738	78	27,690	58	19,500	22	23,711	5,826
	2	15,420	56	22,022	99	12,624	21	36,078	5,457
	3	32,237	49	30,240	53	10,633	12	51,012	6,592
	4	34,608	39	43,205	90	47,594	15	58,915	5,810
	5	65,572	36	67,518	79	50,008	13	69,390	6,043
	6	67,793	27	74,466	79	59,620	5	76,121	6,049
	7	52,833	33	60,202	74	11,000	1	64,051	5,771
	8	31,746	57	28,792	138	取引なし		38,962	6,771
	9	15,620	45	17,446	107	20,411	9	32,738	5,721
	10	16,375	53	15,531	84	3,713	8	45,190	5,949
	11	18,925	44	24,182	123	6,160	5	55,887	5,995
	12	26,865	26	22,490	83	11,367	6	54,285	5,685

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
4	1	156,690	554	134,664	365	200,007	194	150,928	14,421
	2	154,568	511	135,321	311	173,563	172	163,424	13,270
	3	173,935	563	159,393	369	183,812	206	175,588	15,423
	4	181,317	559	179,829	287	212,539	189	178,697	13,776
	5	209,912	449	203,328	263	235,953	151	190,858	12,825
	6	238,145	353	221,190	368	220,208	143	187,300	12,975
	7	204,151	331	188,185	287	226,511	112	157,593	13,177
	8	156,707	560	151,410	271	196,618	121	100,500	15,237
	9	124,209	554	110,885	393	148,069	153	88,395	15,808
	10	129,255	531	106,490	278	161,723	143	91,131	15,097
	11	114,617	706	98,855	296	169,113	153	93,840	16,644
	12	114,802	588	106,584	332	166,884	181	86,297	15,782
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79,231	15,219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93,942	14,311
	3	123,802	587	117,235	331	158,154	197	102,795	15,544
	4	157,892	531	138,296	315	195,491	203	111,958	14,394
	5	188,398	436	177,927	221	219,636	127	123,340	14,179
	6	204,456	298	202,847	271	250,721	111	139,965	13,253
	7	190,503	353	184,677	242	239,165	97	128,267	13,148
	8	131,660	527	123,996	394	152,514	74	86,471	16,037
	9	89,548	562	92,832	339	156,607	135	72,652	15,330
	10	81,329	653	74,372	339	112,121	140	69,375	16,525
	11	77,949	545	82,405	370	109,956	147	76,318	16,520
	12	82,404	607	82,359	335	131,580	144	71,699	16,178

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和5年12月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（牝・牝系・他）				初妊牛（牝・牝系・他）				経産牛（牝・牝系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
北見	12/1	338	396	73	272	5	382	347	367				
豊富	12/8					334	664	195	427	6	270	110	188
十勝	12/11・12					953	994	143	506	155	670	41	313
十勝	12/14	411	449	22	290								
北海道	12/15	51	339	12	181	120	623	157	429	16	397	136	299
北見	12/15					320	785	165	479	6	288	207	250
根室	12/18					411	813	292	548	1	402	402	402
釧路	12/19					288	767	308	513	1	399	399	399
合計	8回	800	449	12	276	2,431	994	143	496	185	670	41	307
前年同月成績	8回	1,067	341	6	181	2,639	1,088	59	477	199	737	11	234
前月合計成績	12回	1,203	367	21	227	2,923	982	52	444	154	593	105	332

ホクレン乳牛市場開催日程

1月12日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)	2月1日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
1月15日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	2月2日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間) 育成
1月18日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成	2月5日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成
1月19日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)	2月8日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
1月24日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	2月9日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)
1月25日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	2月13日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成
1月26日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	2月14日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
			2月15日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
			2月16日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)
			2月28日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
			2月29日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛生産地情報

(令和6年1月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	2.3～3.3	やや強含み	札幌管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で92.0%、累計で92.2%の実績となっております。
	初妊牛	4.7～5.7	やや強含み	1月の初妊牛動向といたしまして、3月～4月中旬の分娩中心となり、需要の高い春分娩に推移することから、やや強含みと見込まれます。資源についても夏の猛暑による授精遅れ等があり、やや少ない状況が考えられます。庭先購買について、当地域は高能力牛の出回りが安定的にあります。都府県支所を通じて能力情報を紹介していきますので、ぜひご購入を宜しくお願い致します。
	経産牛	3.5～4.5	横這い	根釧管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で98.5%、累計で95.7%、中標津管内月計で101.0%、累計で96.3%の実績となっております。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	2.7～3.7	やや強含み	1月の初妊牛動向といたしまして、3月～4月中旬の分娩中心となります。乳価改定や出回り頭数の減少および春分娩の需要が見込まれるため、相場は強含みに推移すると予想されます。腹別では、将来の後継牛不足を懸念して、雌雄選別腹の希望は増えています。出回り頭数が少ない状況となっております。育成牛につきましては3～6月産まれの引き合いが強くなり、強含みで推移するものと思われます。
	初妊牛	4.7～5.7	やや強含み	帯広管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で97.5%、累計で94.8%の実績となっております。
	経産牛	4.0～5.0	横這い	1月の初妊牛動向といたしまして、3月～4月中旬の分娩中心となりますが、地元での需要が回復してきていることや、都府県からの導入意欲もあり相場は上げ基調であります。出回り資源については豊富にあるものの、雌雄選別腹が極端に少ない状況にありますので、ご希望の際はお早めにご注文を宜しくお願いいたします。育成牛につきましては、3～6月産まれの牛が12月の時点から、85万円前後で取引される牛が出はじめられていることから、道内外からの需要が高まっており、年明けはさらに引き合いが強くなるものと見込まれます。
道北管内	育成牛(10-12月令)	2.7～3.7	強含み	道北管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で95.9%、累計で95.0%、北見管内月計で98.6%、累計で95.0%の実績となっております。
	初妊牛	4.8～5.8	やや強含み	1月の初妊牛動向といたしまして、3月～4月中旬の分娩が中心となります。今年には特に夏場が猛暑だったこともあり、春分娩の出回り頭数が少なくなることに加え、道内及び都府県の需要が高まることが予想され、初妊牛相場はやや強含みに推移すると考えられます。育成牛に関しては、道内で春産まれの出回り頭数が大幅に高まっております。中クラス～上クラスの牛に固まっています。30万円強で取引されていることもあり強含みで推移すると考えられます。経産牛に関しては、乳価改定により、道内需要は一定数あることから、やや強含みに推移すると考えられます。
	経産牛	3.5～4.5	やや強含み	新年あけましておめでとうございませう。本年も札幌支所職員一丸となり搾乳用素牛を供給して参りますので宜しくお願い致します。道内の12月中旬までの生乳生産量前年比は98.0%、累計で95.3%の実績となっております。
道内総括	育成牛(10-12月令)	2.7～3.7	やや強含み	1月の初妊牛動向といたしまして、需要の高い春分娩になることから各地域需要が高まる事からやや強含みで推移することが見込まれます。道内の生産意欲回復や都府県の猛暑による入れ替えなどの要因が増えている事が感じられ、熱気を帯びている状況です。また、雌雄選別腹など資源不足がありますので、ご希望があれば、お早めにご注文頂きますようお願い致します。今後とも相場動向を注視しながら庭先購買中心で搾乳用素牛を供給して参りますので宜しくお願い致します。
	初妊牛	4.8～5.8	やや強含み	
	経産牛	3.5～4.5	横這い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業者同組合連合会(全酪連)

札幌支所
☎011-241-0765

《各事務所電話番号》
 釧路事務所 ☎(0154)52-1232
 根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
 帯広事務所 ☎(0155)37-6051
 道北事務所 ☎(01654)2-2368

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
 担当がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいただけけるよう購買のお手伝いを致します。
 また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

2024年1月12日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

12月に入り北米西海岸航路は主要の乗継航路を含めて本船スケジュールの乱れはさらに悪化し、元々のスケジュールから2～3週間後ろ倒しになっている本船も散見されています。2月には中国の旧正月も控えており、旧正月が始まるまでには中国発着の貨物が増加し、旧正月中には中国に発着する貨物の流通量が一時的に低下しスケジュール調整のため本船を間引き運航する可能性もあり、海運情勢が安定するまでには時間がかかる見込みです

また、パナマ運河での降水量不足によりパナマ運河庁(ACP)は、通航する船舶の最大喫水制限や通航隻数の制限を夏時期に行っていましたが、11月から2月にかけて再度、通航隻数の制限を行うことを発表しました。それに伴い一部の船社はパナマ運河経由の航路をスエズ運河経由に変更する対応をしていましたが、12月に入りスエズ運河近くの紅海でイエメンの親イラン武装組織フーシ派による商業船への攻撃が相次いでいることを受け、各船社はスエズ運河の航行を見合わせる事態となり、該当航路の多くは南アフリカの喜望峰経由へと航路変更をしています。

アジアから喜望峰経由での航海時間は、スエズ運河経由に比べ欧州行きで3～4週間、米国東海岸へは5日程度長くなるため、船が海上に滞留する時間が大幅に増え、世界全体として輸送効率が低下する見込みです。また、今後の紅海経由の航路には高額なサーチャージを掛けることを発表した船社や、喜望峰経由に適用されるサーチャージ、その他緊急時のチャージなど各船社チャージの名目は異なりますが、航路変更に伴い生じるチャージを発表した船会社が相次いでいます。

北米西海岸発アジア着の一部の航路ではすでに紅海の治安問題の影響がでており、北米西海岸からアジア、スエズ運河、ヨーロッパ、スエズ運河、アジア、北米西海岸という順で運行している航路については、喜望峰回りにより欧州航路の航海日数が延びることで北米発アジア着の航海日数も同様に延びてしまうことから、急遽他航路から振替する動きも発生しており、スケジュールの乱れが発生しています。今後は世界的な輸送効率が低下することでコンテナの回転率も低下するなど、さらに北米貨物の輸送にも影響が出てくる恐れがあり引き続き注視が必要です。

ビートパルプ

【米国】

産地では製糖作業とビートパルプの生産が続いています。例年では4月から5月にかけて収穫作業が終了しますが、作業が順調なことから少し前倒しで終える見込みです。現在、産地では気温が高い状況が続いている影響で冬季に保管された砂糖大根の品質劣化や廃棄が発生し生産量の減少が懸念されています。

米国産ビートの需要については、23年産の上級品アルファルファの高値取引や大豆粕価格の上昇もあり、先月に引き続き堅調に推移しています。

アルファルファ

23年産の1番刈は主産地であるワシントン州やオレゴン州で収穫期に不安定な天候が続いたため、上級品の発生は限定的となりました。そのため、不足した上級品を補うために米国内酪農家や各輸出業者は刈取り番手が進むごとに買付を積極的に行っており現在の価格は高水準で推移しています。輸出向け需要としては、中国向けが徐々に回復しつつあり、日本向けよりも高値で取引されています。

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは現在10番刈の収穫が行われています。産地では冬季期間のため夏場に発生するサマーハイに比べ成分も回復していますが、米国内や輸出向けの需要は低く推移しています。

米国産チモシー

主産地である、ワシントン州コロンビアベースン及び、エレンズバーグでは23年産の生産は終了しました。現在の需要は米国内の馬糧向けや酪農向け上級品に対する引き合いが強く、上級品の供給力は限定的となっています。低級品については各輸出業者で工場の操業に苦慮しており、稼働率を維持するために一部の輸出業者が値下げを行い、出荷を促す動きが出ています。

24年産の作付面積については、23年産の価格下落により生産農家は換金性が高いとうもろこしや大豆といった他作物に転作することが予想されているため、作付面積は減少し相場の上昇が見込まれています。

スーダングラス

産地では23年産の収穫は終了しました。スーダンの主な輸出先である日本向けの需要は22年産高値の影響で減退し、23年産の作付面積は減少しましたが輸出業者の旧穀在庫消化に目途がたったため徐々に日本からの引き合いも出てきている状況です。しかしながらスーダンの需要は以前に比べ減退していることから24年産の作付

面積は更に減少する可能性があるため動向には注視が必要です。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

産地では23年産のクレイングラスの収穫は終了しました。主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、内需からの強い引き合いはないものの、日本や韓国向けで出荷は安定している状況です。産地では24年から開始が見込まれている畑を休ませることで政府から補助金がもらえる休耕地政策の影響でクレインの生産量は減少すると予想されています。

インペリアル灌漑局から発表された12月15日付の作付面積は昨年同期比97%となる、21,542エーカーとなっています。

バミューダ

2023年のバミューダヘイは8月と9月の降雨により中級品に発生が中心となりました。現在、日本向けの需要は低調に推移していますが、米国内酪農家向けや台湾向けの需要は安定しています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主産地であるオレゴン州ウィラメットバレーでは、23年産の収穫は終了していません。23年は例年に比べ降雨が少なく土壌中の水分が不足した影響で生育が進まず生産量が大幅に減少しました。そのため、24年産が開始されるまでの供給は限定的となり輸出向け価格は高値で推移しています。産地では12月に複数回の降雨が発生し乾燥した土壌を潤しましたが、雨量が多い地域では休眠中のストローが根腐れする可能性もあり、来年の作付面積減少に繋がる懸念されています。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区、南部レスブリッジ地区ともに23年産の収穫作業は終了しており、南部レスブリッジ地区の品質は中級品から上級品、中部クレモナ地区の品質は低級品から中級品が中心の発生となりました。産地では引き続き暖冬の影響で降雪も少ないため、24年産の生産に影響を及ぼす可能性も予想されています。

豪州産オーツハイ・ウィートストロー

23年産オーツハイの収穫作業は終了しています。作況については全豪全体で降雨が少なかった影響により大半が上級品の発生で、中～低級品の発生は限定的となっています。各輸出業者は中～低級品の需要を補うために旧穀在庫からの出荷やオーツハ

イとウィートストローをブレンドして出荷する見込みです。

ウィートストローについては現在、収穫作業が本格化しています。西豪州では天候に恵まれたため見た目が綺麗な品質が発生し、南豪州と東豪州の一部では12月中～下旬の降雨の影響で色が変色した品質が発生しています。

豪州ストライキ

Maritime Union(港湾労働者組合)とDP World terminal(港湾施設)間で賃金論争が原因となり断続的にストライキが発生していましたが、現在も続いています。ストライキの内容は荷役作業を一定期間停止するというもので、荷役作業の効率が低下しスケジュールの遅延が相次いでいる状況です。12月下旬に両社の賃金交渉は1月下旬まで行わないことをMaritime Unionが発表したこともあり交渉再開までストライキが続く見込みのため、引き続きスケジュール遅延が懸念されています。

以上

◆ 主な行事予定 ◆

- | | |
|--|---|
| <p>2月</p> <p>31日 令和5年度冬期登録事務担当者会議(WEB)</p> <p>30日 理事会(WEB)</p> <p>29日 JA決算税務担当部課長会議(農業会館)</p> <p>26日 内部管理職会議</p> <p>22日 西日本酪農青年女性会議三役事務局会議(大阪支所)</p> <p>18日 畜産技術ひょうご編集会議(県民会館)</p> <p>16日 令和5年度後期牛群審査(本州側16日・淡路側17、18日)</p> <p>15日 第61回淡路農林水産祭(伊弉諾神宮)</p> <p>岩崎税理士巡回税務監査</p> <p>16日 令和5年度後期牛群審査(本州側16日・淡路側17、18日)</p> | <p>1月</p> <p>15日 第61回淡路農林水産祭(伊弉諾神宮)</p> <p>岩崎税理士巡回税務監査</p> <p>16日 令和5年度後期牛群審査(本州側16日・淡路側17、18日)</p> <p>18日 畜産技術ひょうご編集会議(県民会館)</p> <p>22日 西日本酪農青年女性会議三役事務局会議(大阪支所)</p> <p>26日 内部管理職会議</p> <p>29日 JA決算税務担当部課長会議(農業会館)</p> <p>30日 理事会(WEB)</p> <p>31日 令和5年度冬期登録事務担当者会議(WEB)</p> |
|--|---|
- 8日 全国酪農協会令和5年度事業推進会議(WEB)
- 7日 令和5年度兵庫県有和牛精液利用検討委員会(県民会館)
- 2日 兵庫県農林漁業祭実行委員会(中労センター)
- 1日 職員会議